

「ガーラ」と「ALSI」がセキュリティ機能を備えた学校向けコミュニティソフトの販売で提携

2000年 6月7日

株式会社ガーラ

アルプスシステムインテグレーション株式会社

<発表内容概要>

日本最大の会員制掲示板コミュニティ「ガーラフレンド」(会員数合計60万名)を手掛ける株式会社ガーラ(渋谷区 菊川 暁社長)は、トータル教育システムを手掛けるアルプスシステムインテグレーション株式会社:略称ALSI(大田区 大喜多 晃社長)と共同で不適切用語規制機能をもった学校向けコミュニティソフト「DREAM Community」(仮称)を2000年夏より販売開始することについて発表した。

<発表内容詳細>

● 背景

教育現場においては、文部省より2002年までに全学校をインターネットに接続する方針が発表されている。それに伴い、1999年度から3年間、文部省、郵政省の共同プロジェクトとして「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」がスタートした。これらの取り組みでは「生きる力」「コミュニケーション」「情報検索」「情報リテラシー」等の能力を向上させることが目的とされているが、効果的な教育ツールが欠如しており、コンピュータを使って何をすべきなのかが問われている。そのためのツールとして掲示板等を利用した「コミュニティシステム」の利用価値についての認識が広がりつつあるが、以下の4点の課題に対応するため、「魅力的なコミュニティの仕組」とそれを「自動で管理できる仕組」の提供が求められている。

- 1:魅力的なコミュニティシステムを自ら作成することは困難。
- 2:市販では完成品としてのコミュニティシステムは少なく、高価。
- 3:コミュニティを管理するノウハウを持った先生が少なく、運用が難しい。
- 4:放置状態では誹謗、中傷等のトラブルがおこりがち。

● 商品概要

今回、両社の提携によって開発されたコミュニティソフト「DREAM Community」には掲示板やチャット、メールのような基本的な仕組みと、不適切用語の規制に加えて、名刺機能やお楽しみツール、管理ツール等がパッケージ化されている。名刺機能は気の合う仲間や頼りになる先生を掲示板等で発見した時に、自己PRやメッセージ等を記載した名刺を交換することで、より深いコミュニケーションを実現する。また、掲示板への書き込みをするほどにポイントが加算される仕組を導入し、ランキング発表することで、生徒の利用意欲を活性化する。管理ツールでは、不適切な書き込みをした生徒の特定ができるようになっている。

● 役割分担

開発については、主にガーラが担当し、ALSIは総販売元となる。ガーラは日本最大の会員制掲示板コミュニティ「ガーラフレンド」(<http://www.friend.ne.jp/>)の運営等を通じて培った安全で誰もが楽しめる「コミュニティ」の設計・運営のノウハウを所有しており、掲示板のセキュリティシステムについて昨年7月に特許を取得している(特許第2951307号、国際特許についても出願中)。

掲示板のセキュリティシステム「COPS: Community Patrol System」とは掲示板に不適切な投稿が掲載される前にフィルタリングを行い、掲載拒否及び管理者への通知を行うサービスで、セガのドリームキャストのチャットルームや大手ポータルサイト等を中心に導入が進んでいる。

ALSIはBBC英国放送制作の英語教材ソフトやインターネット上で有害なウェブサイトへのアクセスを規制するシステム「WebSENSE ウェブセンス」等で学校市場に数多くの実績を保有しており、これらの全国的な販売チャネルを通じて学校向けのコミュニティソフトの販売をおこなう。

● 市場規模

2001年までに小学校から高等学校まで全ての学校にインターネットが導入される計画。

全国に、小学校は約24,000、中学校約11,000、高校4,100、教育委員会・教育センター約4,000ある。当プロジェクトは来年度中に上記の5%にあたる2,000箇所への導入を目指す。

お問い合わせ
株式会社ガーラ

コンテンツセキュリティ事業部 工藤
東京都渋谷区東3-25-11TANGO33ビル3F
TEL:03-5778-0321 FAX03-5778-0340
<http://www.gala.jp/>

アルプスシステムインテグレーション株式会社
セキュリティサービスグループ 松下
東京都大田区雪谷大塚町1-7
TEL03-5499-1331 FAX03-3726-7050
<http://www.alsi.co.jp/index.htm>